

## Mac OS 用 Web 版付録5 データの読み込みと呼び出し

### 5-2 内部データの呼び出し

#### <Mac OS 専用>

【注意】 Mac OS 用 Web 版付録5-1 と 5-3 は、別のリンクにあります。

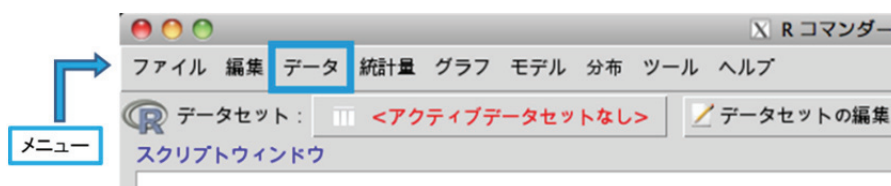
R コマンダーには、実際の計測や調査にもとづくデータがたくさん用意されています。おもしろそうなデータを探して、この本で学んだことを実際に試してみると理解が深まるでしょう。ただし、他のどこかからデータを探す手間は省けるのですが、実習の目的に沿ったデータを探すには、少し時間がかかるかもしれません。また、変数名やデータの出典元に関する記述は、すべて英語です。airquality という大気汚染に関するデータを例にして、R コマンダー内部に用意されているデータを呼び出す方法を説明します。

#### R コマンダー内部に用意されているデータの呼び出し

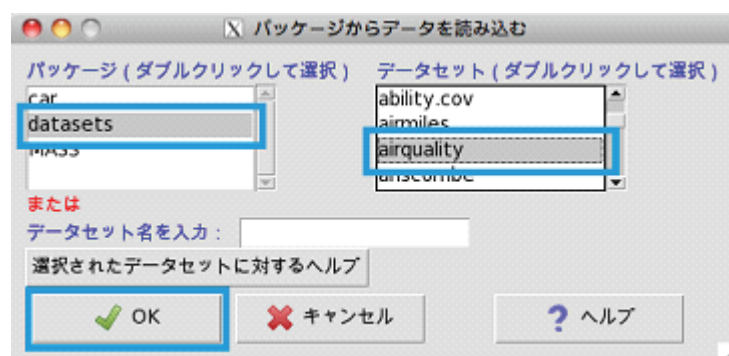
airquality という大気汚染に関するデータを例にして、R コマンダー内部に用意されているデータを呼び出す方法を説明します。

1. 操作説明図 M52-1 は、R コマンダーのウィンドウの上部を表示したものです。ファイル、編集、データ、…、ヘルプと表示されている行をメニューとよびます。メニューの「データ」をクリックすることから始めて、「データ」→「パッケージ内のデータ」→「アタッチされたパッケージからデータセットを取り込む…」とクリックしながら進むと、操作説明図 M52-2 の“パッケージからデータを読み込む”というウィンドウが表示されます。

操作説明図 M52-1



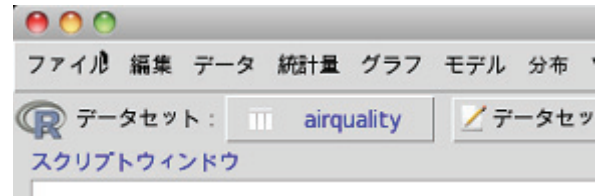
操作説明図 M52-2



2. 左側のパッケージ (ダブルクリックして選択) から “datasets” をダブルクリックして選び、右側のデータセット (ダブルクリックして選択) の欄に表示される選択肢の中から、“airquality” をダブルクリックします。“airquality” を見つけるには、データセット (ダブルクリックして選択) の欄の右側についているスクロール・バーを下げる必要があります。

操作説明図 M52-3

3. 操作説明図 M52-3 のように、R コマンダーのウィンドウ 上部にある「データセット :」の右に青で `airquality` と表示されれば取り込み完了。



**【参考】**R コマンダーでは、「データセット :」の右に青で表示されているデータに対して、図を描いたり、平均や標準偏差などを求めたりすることができます。

操作説明図 M52-4

**【参考】**R コマンダー内部に用意されているデータがどのようなものであるかを知りたいときは、操作説明図 M52-4 で指定されている

#### 選択されたデータセットに対するヘルプ

をクリックします。データについて説明が記されたウェブサイト開きます。ただし、説明はすべて英語です。また、R コマンダーに不具合があるようで、指定したデータセットではなく、その前後のデータセットのヘルプが開いてしまうこともあります。

